

現社員がより一層家庭での充実した時間を持ちながら仕事に励むことが出来るよう、また若手育成に向けて、入社後、家庭を持ち長く地域に定住してくれる人材を獲得できるよう、以下のような対策を行う。

1. 計画期間平成26年10月1日～平成31年9月30日までの5年間
2. 計画内容

○子育て・介護を行う労働者等の職業生活と地域への貢献・家庭生活のスムーズな両立を支援するための制度的整備

目標1：子どもに関わる諸行事（出産・保育学校関連行事）における有給休暇取得の促進と、近親者の介護のための介護休暇取得の促進

<対策>

- ・26年10月～ 有給休暇制度と介護休暇制度を全社員に周知
- ・26年10月～ 随時利用状況を記録
- ・27年9月～ 26年10月～27年9月までの一年間の利用状況を把握し、制度の内容を再検討する

○その他次世代育成支援

目標2：地域外からの若手労働力獲得をめざし、就業体験やトライアル雇用の実施

<対策>

- ・26年10月～ ホームページ上での就業体験・トライアル雇用の募集要項作成・公開
- ・26年10月～ 応募があり次第随時実施

目標3：「子ども参観日」を設け、父親の仕事への関心・理解の促進、また青少年の進路を考える上で建設業理解への一役を担うことを目指す

<対策>

- ・隔年2月 「冬季子ども参観日」除雪作業の様子など、冬の仕事を見学・体験する。
- ・隔年8月 「夏休み子ども参観日」夏休み期間を利用して、お父さんが現場で仕事をする姿を母子で見学する。